

4、拡がりつつある2次元SPコードとスピーチオ

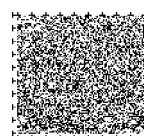
廣濟堂スピーチオ販売(株) 深見拓史

1、はじめに

少子・高齢化社会を迎えて健康・介護・福祉への感心が高まっている。また、企業の社会的責任(CSR)や、障害者と健常者が共に使用できるものとしてユニバーサルデザインへの感心も高まっている。厚生労働省が、日常生活用具として認定した、視覚障害者用活字文書読上げ装置・「スピーチオ」に対応した新しい2次元コード・「SPコード」は英・数字のみならず日本語の漢字・かなを標準で約800文字含むテキストを対象として発案されたものである。この「SPコード」を「スピーチオ」に読み取らせると、音声で読上げる。



写真1 スピーチオ



(Mサイズ原寸)

第1図 SPコード

2、拡がりつつある2次元コード・SPコード

東急グループ、ダイエー、ピザラ、三井住友海上火災保険、全国銀行協会、総務省などでは、「会社案内」、「環境・社会貢献活動報告書」、「商品パンフレット」、「手続案内」などに、「SPコード」を付けている。また製薬メーカー29社から構成されている、くすりの適正使用協議会は、ホームページ上で、約7,000種類の「くすりのしおり」に「SPコード」を付与し医師向け、調剤薬局向けにサービス対応中である。同様にライオンでは従来から大活字による新商品説明を発行していたが、今回新たに「SPコード」を付けて発行した。

3、自治体発行物へのSPコード印刷の動き

島根県安来市では、平成17年4月から毎月の広報誌「広報やすぎ“どげなかね”」の全ページにSPコードを付けて発行している。滋賀県東近江市では、各種「お知らせ」を「SPコード」付き文書にし、中央区、練馬区他では「障害者福祉のしおり」に、川崎市では、福祉の案内冊子「声のふれあい」に、我孫子市、江戸川区では「バリアフリーマップ」に各々「SPコード」を付け好評であり、自治体発行物への「SPコード」付けが増加している。

4、簡単に作成できる「SPコード」

統計によれば視覚障害者は、30万人とされているが、このうち点字が理解できる人は約10%弱だといわれている。一方、当システムでは「SPコード」を紙面に付与することによって、健常者も障害者も同じ紙面から同じ情報を得ることができ、情報バリアフリーを実現している。「SPコード」を作成するには、SPコード公式ホームページ <http://www.sp-code.com/> から無償でダウンロードできる、SPコード・ワンクリック版か、有償で購入できるSPコードメーカープロ版がある。どちらもマイクロソフト社のWordにアドインするソフトウェアになっており、簡単に作成することができる。有償版ではパソコン上で音声確認することもできる。

参考文献(1) 深見拓史;「印刷物によるバリアフリー・コミュニケーション・システム」 SPコード付きコンテンツの普及状況 日本印刷学会 春期研究発表会 2005

連絡先: fukami@kosaido.co.jp 2006年2月1日(水) PAGE2006